

経営比較分析表

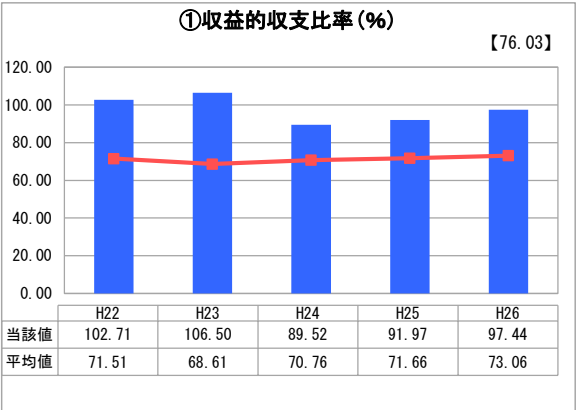
愛媛県 上島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	100.00	5,975

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,377	30.38	242.82
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
210	2.35	89.36

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

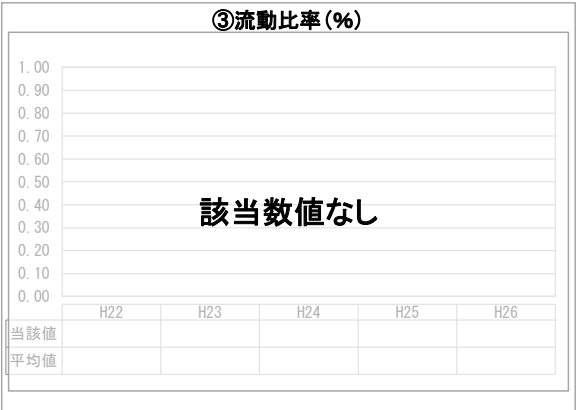
1. 経営の健全性・効率性



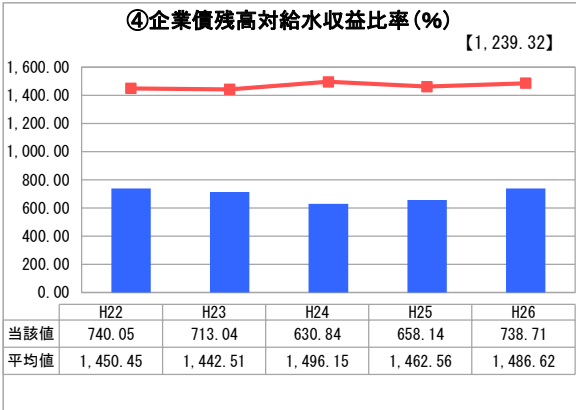
「単年度の収支」



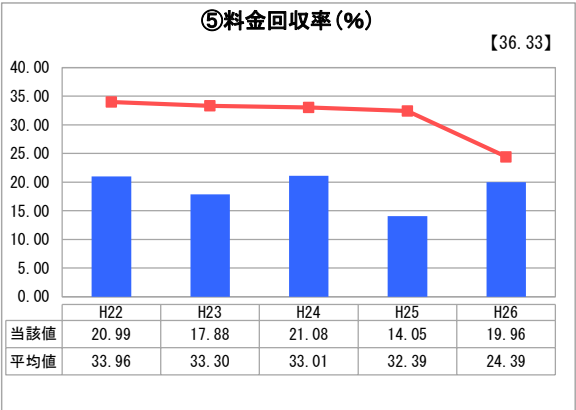
「累積欠損」



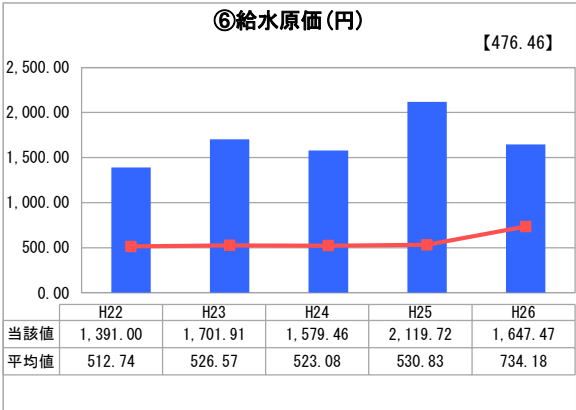
「支払能力」



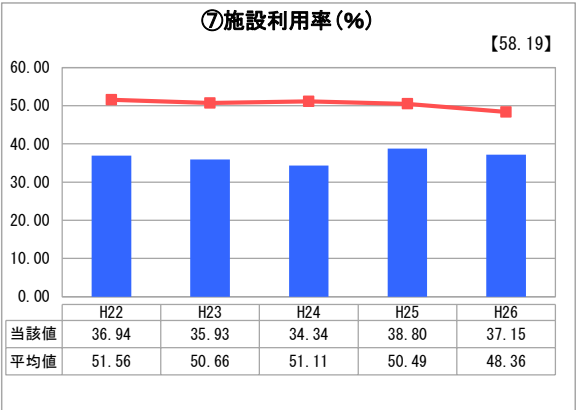
「債務残高」



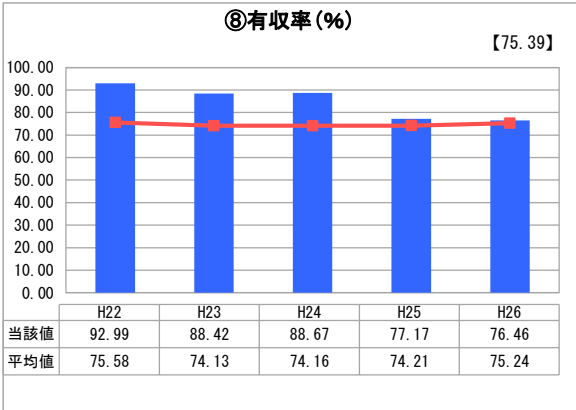
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

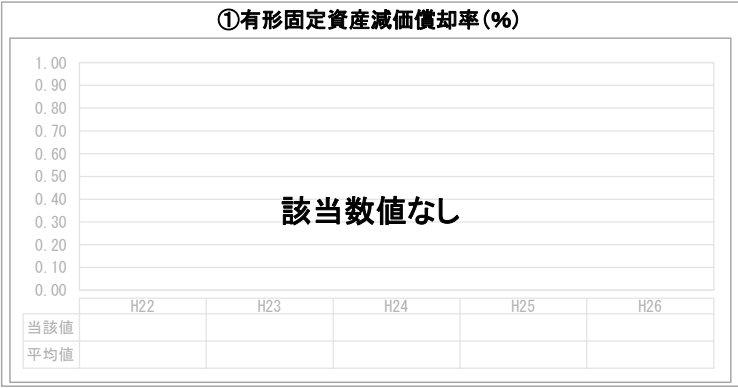


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

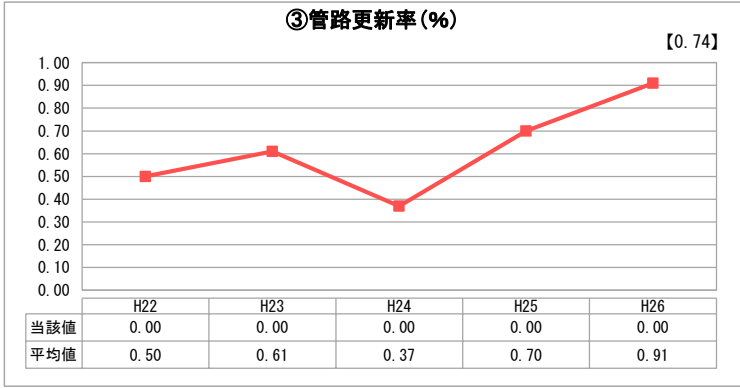
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性について、収益的収支比率は類似団体の平均値と比較して高いが、給水収益は少なく、一般会計からの繰入金に大きく依存している。また、平成27～28年度で実施する魚島地区の海水淡水化施設、高井神地区の膜ろ過施設の建設により、資本費の高騰が継続するため、今後も繰入金に頼らざるを得ない状況が続くものと思われる。

通常であれば経営改善に向け料金の見直しを含めて検討しなければならないが、過疎・高齢化による人口の減少により収入の増加も見込めず、給水原価に相当する料金を住民に頼ることも難しいため、安易に料金改定もできず、料金改定を実施したとしても大幅な改定は望めないものと思われる。

経営の効率性については、有収率は概ね類似団体の平均値と同等であるが、施設利用率が低く、これについては計画時の給水人口が現在の給水人口を大きく上回っており、現存の施設規模が大きすぎると思われる。やはり過疎・高齢化による人口の減少による影響が出ているものと思われる。

2. 老朽化の状況について

管路更新については、現在更新されておらず、平成28年度に高井神地区の送水管・導水管を一部更新する予定となっている。他の管路及び貯水槽の更新についても早急な検討が必要である。水道施設については魚島地区の海水淡水化施設の建設、高井神地区の膜ろ過施設の建設を実施し安定した水源の確保を行う。

全体総括

水道施設の老朽化も進んでおり、また、給水人口に見合った施設規模にあわせて、今後更新が必要となってくると思われるが、現状での給水収益の増加は見込めないため、一般会計からの繰入に頼らざるを得ない状況である。現状においても、水道料金は、上水道で全国で10位内に位置する上島町上水道と同等程度の料金を徴収していることから、大幅な改定は難しい状況ではあるが、会計制度の見直し（企業会計への移行による透明化）、過疎化・高齢化による給水件数の減少による水需要の減少などの社会環境の変化に対応した料金体系の見直しについての検討をすすめるなどの経営改善策を講じていく必要がある。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。